



地域みんなで  
身近な公園を **もっと**  
活用してみませんか  
～コミュニティパーク事業～

令和6年4月発行



# コミュニティパーク事業の概要

## コミュニティパーク事業について

「コミュニティパーク事業」は、地域による公園の利用ルールづくりと自律的な管理運営により、地域にとって使いやすく魅力的な公園づくりと地域コミュニティの活性化を目指す事業です。

具体的には、コミュニティパーク事業は、これまで行政が一律のルールで管理してきた公園で、地域で公園の利用ルールを定めることを認め、同時に地域による自律的な管理運営を行政がサポートするかたち（コミュニティパーク）に移行します。これにより、公園利用の自由度が上がるとともに、公園を中心としたコミュニティ活動が活発化することで、公園・コミュニティ双方の課題解決に対処していくものです。

コミュニティパーク事業を実施することで、

### 地域独自のルールによる 公園利用が可能になります

これまでの市内一律のルールではできなかった自由度の高い公園の使い方ができるようになります。親子での場所を決めたキャッチボール、手持ち花火など、地域のみなさんで利用ルールを定めることが可能となり、公園の使い方の自由度が高まります。

### 自分たちの手で 独自の公園づくりができます

快適な公園づくりのため、花壇やベンチの設置など工夫をこらした独自の公園づくりができます。



## コミュニティパーク

コミュニティパーク事業がスタートして7年が経過し、2024年現在、福岡市内の7ヶ所の公園で制度が活用されています。具体的には、地域カフェ、フリーマーケット、お祭りなどが地域の公園で催され、パークハウスを整備した公園も広がっています。

本冊子では、そのような活動を事例集として取りまとめ、市内の地域団体や市民のみなさんに、

## コミュニティパーク事業実施の効果

公園がより活用しやすくなり、地域の拠点として活かされる場となります。

### 公園の 使い方が広がります

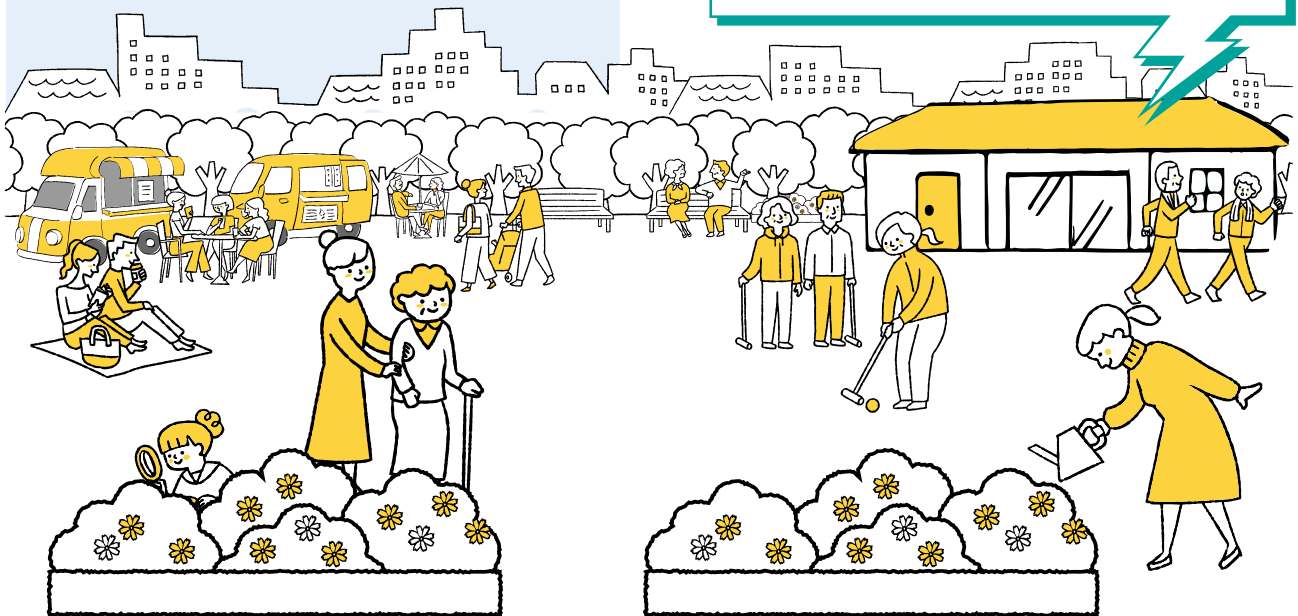
バーベキューやドッグラン、フリーマーケットなどのこれまで実施の難しかったイベントの実施が可能となります。活用の幅が広がることで、地域コミュニティの活性化にもつながります。

### 使用許可手続きが スムーズになります

イベントや地域のお祭りなどの公園の利用について、年間利用計画書を添付した許可申請により、手続きが簡略化されます。

### パークハウスにより、 公園の使い方がさらに広がります

1年以上のコミュニティパーク事業による公園の適切な管理運営を実施し、さらなる公園の活用を望み、設置条件を満たす場合、パークハウスの設置が特別に認められます。



## 事業が始まっています！

コミュニティパーク事業を幅広く知ってもらうことを目的として作成しています。下月隈中央公園、田隈中公園、生松台中公園、吉塚梅香公園について、実際に事業に取り組まれている活動団体の皆さんのお話を通して、その様子をお伝えしていきます。

# コミュニティカフェでみんながつながる 下月隈中央公園



下月隈中央公園は 50 年ほど前に下月隈のニュータウンの中央に作られました。当時から多くの地域住民に親しまれてきたこの公園は、今でも子どもたちからは「カメ公園」の愛称で親しまれ、子育て世代から高齢者まで様々な年代の住民に利用される場となっています。運営委員会委員長の山下さん及び委員の皆さんにお話を伺いました。



永瀬さん 山下さん 諸藤さん 秋山さん

## 地域の新たな憩いの場づくり

以前は公園内に老人憩いの家がありましたが、その移設に伴い、公園内に新しくみんなが集える場がほしいという声が上がりました。それに加え、近隣の集会所の利用が活発化して、市民活動の場が手狭になってきたため、新たな活動の拠点が求められました。そこで、コミュニティパーク事業を活用してパークハウスが建てられ、地域住民が集う新しい憩いの場が生まれました。



パークハウス周辺の花壇のお手入れ

## 世代間・他文化との交流の場に

ニュータウン開発時にこの地域に移り住んだ世帯の高齢化と空き家の増加が進む一方で、最近新しい世帯の入居も増えています。新たな入居者には子育て世代が多く、中には海外から来た家族もいます。下月隈中央公園では、餅つき大会やお花見、夏祭りなど季節のイベントが開催され、多様な地域住民の交流の場となっています。



雪が降る中でも大盛況だった餅つき大会

## 地域をつなぐコミュニティカフェ

パークハウスでは、自治会を中心にボランティアで集まったメンバーがカフェを運営しています。誰でも立ち寄れる開放的な場所にしたいという思いから、地域サークルの活動の場ではなくカフェの運営をメインにパークハウスを活用することにしました。カフェをきっかけに、あまり家から出ることのなかった高齢者が毎日のように訪れて、以前よりも元気になったりと、パークハウスが地域と住民が繋がる場所として活用されています。



パークハウスで活動する地域住民



夏祭りには多くの子どもたちが集まる

## みんなで育てるみんなの公園

コミュニティパーク事業の運営委員会は、公園の愛護会のメンバーに加え、高齢者のお助け隊や生協のバザーに関わっていた人たち、自治会のメンバーで構成されており、毎月定例会を開いて情報交換やイベントの打ち合わせなどを行っています。公園の維持管理は愛護会を中心に定期的に剪定や花壇の植え替え、清掃活動を行っています。公園では毎朝 7 時半からラジオ体操が行われており、参加者が自主的にゴミを拾っていくため、公園がいつも綺麗に保たれています。また、この公園では地域に住む消防関係の方の協力もあり、避難訓練と防災講習も行われています。

## こどもたちの居場所づくり

パークハウスには毎日管理者が駐在しているので、地域での子どもたちの見守りにも一役買っています。放課後に子どもたちがパークハウスで勉強をしたり、テラスに集まって遊んだりしていることもあります。また、下月隈中央公園で自治会が毎年開催している夏祭りは子どもたちからとても人気で、町内の子どもだけでなく、校区内の他の自治体からも多くの子どもたちが遊びにきます。

## 新しいつながりも

下月隈中央公園の取り組みは県内外の大学からも注目されており、研究のために足を運び、地域と交流を持つ学生もいます。また、県外からも公園の管理者が視察に訪れることもあり、今までにはなかった新しいつながりが生まれてきています。



公園は地域の防災訓練の場としても活用されている

地域で育て・公園を彩る

## 田隈中公園



田隈中公園は 1980 年代にもとは公営住宅用地だった土地に整備されました。5,000 m<sup>2</sup>以上ある敷地内に、運動広場や広い砂場などが複合している大きな公園です。この運動広場や広い砂場は子どもたちが球技をして遊んだり、サークル活動を行ったりする場として親しまれてきました。

運営委員会の半田会長と運営委員のみなさんにお話を伺いました。



半田会長

### 花壇づくりで地域を彩る

花壇づくりの取り組みが田隈中公園の魅力のひとつです。公園内の花壇は全部で 10 箇所あり、それぞれの花壇を花壇サークルの中で担当を割り振って、チームごとに管理しています。チームごとに植物を育てることが参加者のモチベーションアップにもつながっています。

公園の花壇サークルは、市役所前広場で開催される福岡市主催の花壇コンテストにも参加しており、その作品づくりも田隈中公園の利用を盛り上げています。地域の高齢者の中には、「花壇サークルの作品を見に行きたい」と市役所前広場まで足を運ぶ人もいて、住民が少し遠出をする新しいきっかけづくりにもなっています。

また、手入れが行き届いた花壇とパークハウスの縁側があることで、住民が公園に集まって談笑をしたり、地元の福祉施設の入居者の憩いの場となったりもしています。



整備された花壇が公園を訪れる人たちを和ませる



花壇サークルのみなさんによる花壇の植え替えの様子

## パークハウス「こぱす二丁目」

田隈中公園のパークハウスは、「こぱす二丁目」として地域住民に親しまれています。パークハウスでは、毎月第一水曜日に「Cafe コパス」が開催される他、毎月第二木曜日に「熟年学びの会」が開かれ、ものづくり教室の「こぱす工房」も定期的に開催されています。また、毎週火、木曜日の放課後と日曜日の午後は学童見守りとして開放しています。開放日は小中学生が訪れて、パークハウスの中で遊んだり勉強をしたりと、子どもたちにとっても憩いの場として活用されています。



公園の清掃活動の様子

## 今後の担い手づくりに向けて

田隈中公園では、年に一度公園全体を使ったマルシェも開催されていて、キッチンカーが来たり地元の人がハンドメイドのものを売ったりして、15店舗以上のお店が公園に集まります。イベントが盛況な一方で、運営のための人手が足りないという課題も抱えています。また、パークハウスの運営もこれから先、地域で誰がどのように維持管理していくかが課題だと言います。地域の公園を支える新しい担い手として、子育て世代などがどうしたら公園の維持管理に興味をもってくれるか、「人が集まってくるように、まずは自分たちが楽しく活動しているところをみんなに見せたい」と半田会長は語ります。



パークハウスでは新年を祝うお食事会も開かれた

## 綺麗な公園をいつまでも

愛護会による週2回のトイレ清掃、シーズン毎の低木剪定や草刈り、毎月の遊具の点検に加えて、田隈中公園では町内会による清掃活動も組別の持ち回りで毎月行われています。また、花壇サークルが月2回の花壇の手入れを行っていることも公園全体の美化につながっています。それだけでなく、公園を利用する他のサークルも、自分たちの活動の際には公園内のゴミ拾いを行っています。田隈中公園は地域みんなの手によって美観が維持されています。



パークハウスのテラスで合唱を楽しむ地域の方々



15店舗以上のお店が軒を連ねるマルシェ

## 世代をこえて交流が育む 生松台中公園

生松台中公園は約1,100世帯あるニュータウンの中心に位置しており、広いグラウンドと開発前の地域の姿を残した築山が特徴的な公園です。運営委員会の穴井会長と運営委員のみなさんにお話を伺いました。



穴井会長

### イベントがつなぐみんなの公園

夏祭りやハロウィンイベント、餅つき大会が開かれていた生松台中公園では、公園のさらなる活用に向け、パークハウス建設を計画したことがコミュニティパーク事業に取り組むきっかけでした。その後、管理組合や地域による話の中で、地域交流イベントを軸とした運営の方向に向かうこととなりました。



ふれあい市で目指せホールインワン！

### 月に一度のふれあい市

生松台中公園では2021年から月に一度、ふれあい市を開催しています。地域の飲食や物販の事業者を誘致し、お米や野菜、花などの販売やたこ焼きのような軽食の出店をしてもらっています。最近では、住民同士が家に眠っているお宝を持ち寄ってオークションを開催したり、新しい取り組みで会場を盛り上げています。高齢化が進む生松台において、「ふれあい市は高齢者が家から出るきっかけや人と話すきっかけにはなっているし、そういうイベントにしたいという想いでふれあい市をつくってきた」と穴井会長は語ります。ハロウィンなど他のイベントと合わせてふれあい市を開催することもあり、若い世代の親子連れでの来場も増えて、この事業が新しい交流が生まれるきっかけにもなっています。

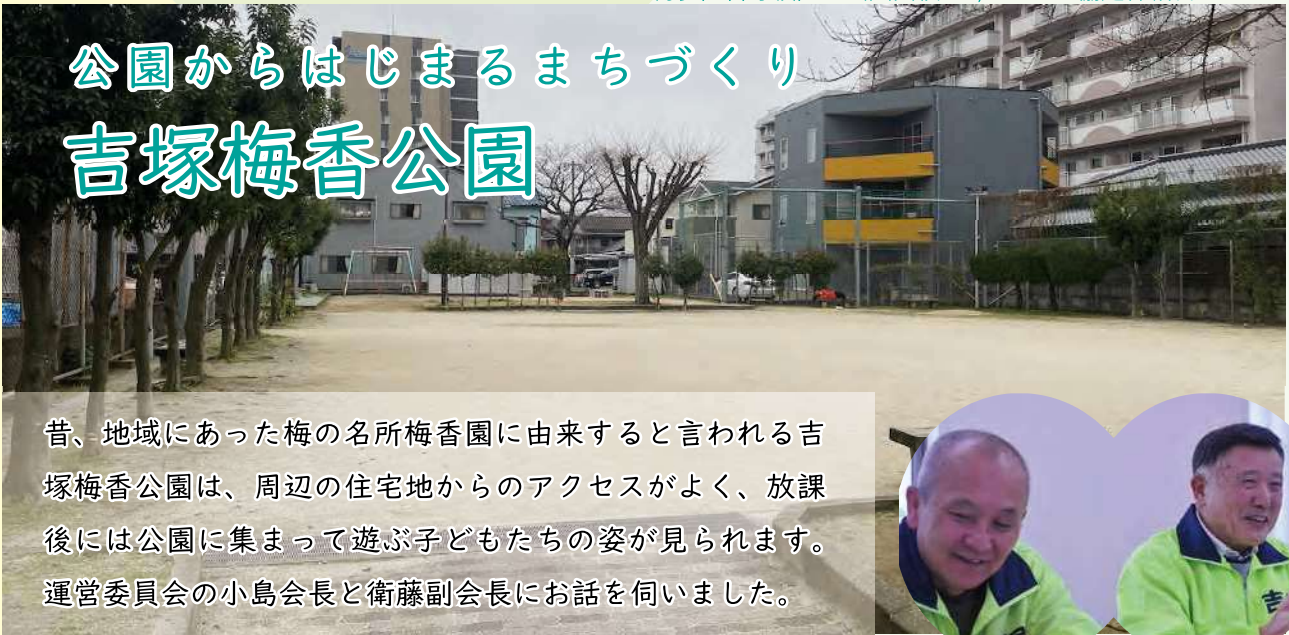
### 地域全体の交流の場に

地域の高齢化が進んでいることを踏まえて、これまで以上に高齢者の見守り活動や安否確認のための事業としても役立っています。また、子どもがいる若い親世代にも、もっと公園を活用してもらえるように公園活用の新しいアイデアを積極的に募っています。



公園の入り口

# 公園からはじまるまちづくり 吉塚梅香公園



昔、地域にあった梅の名所梅香園に由来すると言われる吉塚梅香公園は、周辺の住宅地からのアクセスがよく、放課後には公園に集まって遊ぶ子どもたちの姿が見られます。運営委員会の小島会長と衛藤副会長にお話を伺いました。



衛藤副会長

小島会長

## 公園が地域の活動の中心

この公園は子ども夏祭りの神輿巡行や子ども育成会のイベント、グランドゴルフなど地域の交流の場として活用されてきました。公園の清掃や廃品回収も定期的に行われています。会長の小島さんたちは、「吉塚梅香公園を中心とした明るく元気なまちづくり」をビジョンに掲げて活動を続けてきました。



地域が思い描く公園利活用のビジョン

## 夢のある公園であり続ける

実はこの地域からはプロ野球選手や甲子園球児を輩出しています。彼らが幼少の頃は、この吉塚梅香公園で毎日のように朝からキャッチボールをしていました。禁止事項を増やすのではなく、みんなで話し合ってルールを作っていく。今の子どもたちが未来のスターに育つような夢のある公園にしたいと副会長の衛藤さんは笑顔で語りました。

## 公園づくりからまちづくりへ

吉塚梅香公園では、コミュニティパーク事業とは別に、老朽化した公園の再整備も検討されていました。

そこで、地域としてはコミュニティパーク事業を活用した公園のルールづくりを進めていき、ワークショップを実施し、子どもから高齢者まで地域の住民が参加して、みんなが楽しく公園を利用できるようにルールを定めました。

子どもたちを含め、みんなが公園でやりたいことを丁寧に確認していくことで、公園からまちづくりへの展開を期待しています。

一方で、公園の再整備では吉塚梅香公園のシンボルとなるよう梅の木の植栽なども決まっており、今後これまでよりも活発に地域のまちづくりができると、会長をはじめ地域のみなさんは期待を膨らませています。



再整備後の公園のイメージパース

※公園再整備はコミュニティパーク事業とは別事業です。

## 百道浜中公園

住宅地の中にある街区公園で、秋にはお月見コンサートを開催しています。



所在地：早良区百道浜校区 公園面積：2,563 ㎡ 協定締結日：H29.9.29

## 名島渡場公園

地域の愛称である『茅町公園』としてコミュニティパークを実施しており、緑のコーディネーターによる花壇づくりが行われています。



所在地：東区名島校区 公園面積：997 ㎡ 協定締結日：R1.8.9

## 下山門北公園

中学校の近くに位置する街区公園で、清掃活動もこまめに実施されて公園内が綺麗に保たれ、多くの子ども達が利用しています。



所在地：西区下山門校区 公園面積：1,617 ㎡ 協定締結日：H30.4.2

# コミュニティパーク事業をもっと知りたい

最後にコミュニティパーク事業の始め方や主なご質問をご紹介します。  
コミュニティパーク事業のもっと詳しいことを知りたい方は、まずは市へご相談下さい。



STEP  
1

## まずは、市へ相談しよう！

コミュニティパーク事業をもっと知りたい、検討をしたい、わからないことなど、お気軽にお問合せください。

STEP  
2

## 公園の利用圏域を決めよう！

発案自治会・町内会、自治協議会、市で話し合い、公園の利用圏域（話し合いを行う住民のエリア）を決めます。

STEP  
3

## みんなでルールと管理運営体制をつくろう！

公園利用ルールや管理運営体制を地域のみなさんで話し合います。市が派遣するアドバイザーが話し合いをお手伝いします。

STEP  
4

## 協定を締結し、地域のみなさんにお知らせしよう！

コミュニティパーク事業の協定を締結し、その後は公園へのルール看板設置、利用圏域の住民への回覧などにより、事業開始のお知らせをします。

Q1

コミュニティパーク事業をはじめたら、利用圏域以外の方は公園を利用できなくなりますか？

主な利用者となる利用圏域の方で公園のルールや使い方、管理について話し合い、管理運営をやっていただくもので、公園の利用者を制限するものではありません。新しく決まった公園のルールの中で、誰でも自由にご利用いただけます。

A

Q2

地域の意見がまとまらなかった場合、コミュニティパーク事業が実施できないこともありますか？

公園の使い方に大きく関わるため、地域のみなさんの意向と合意のもとで進められる事業となっております。みなさんでしっかり話し合う必要があり、まとまらない場合などは実施できないこともあります。

A

Q3

コミュニティパーク事業の実施にあたって、補助金はありますか？

コミュニティパーク事業に関する補助金はありませんが、公園全体の管理をしていただくことになるため、公園愛護会としての草刈りや中低木の剪定、トイレ清掃などの活動を対象とした報償金制度を活用いただけます。

A

※ホームページで「コミュニティパーク事業の手引き」を検索すると、もっと詳しい説明が掲載されています。

●コミュニティパーク事業に関する窓口

福岡市 住宅都市みどり局みどり推進部みどり活用課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号

TEL：092-711-4367 FAX：092-733-5590

E-mail：koenkatsuyou.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

●コミュニティパーク事業の手引きのご紹介

コミュニティパーク事業について、事業の実施を検討するみなさんの疑問点に応え、既に事業を実施中のみなさまの活動の手助けとなることを目指し、手引書を作成しています。事業にご関心のあるみなさんは、是非ご一読ください。

コミュニティパーク事業の手引き

🔍 検索



コミュニティパーク事業活動事例集

令和6年4月発行

福岡市 住宅都市みどり局みどり推進部みどり活用課